

CCFR工法 二酸化炭素再燃料化事業

株式会社 Eプラス

Carbon Dioxide Capture Fuel Recycle

CO₂ 再生燃料化システム

CCFR工法(Carbon Dioxide Capture Fuel Recycle)

排気ガス中のCO₂をアミン系吸収液で捕獲後、触媒を用いて炭化水素生成、燃料化を図り、竹粉・紙粉を混合させて、液体吸収を行います。竹粉・紙粉も発熱材料であり、CO₂の再燃料化に貢献できます。実証試験を静岡県富士市(製紙会社バイオマスボイラー)で2016年4月から実施しています。CO₂削減が叫ばれる中、具体的な手段が無いのですが、ひとつの手法を提示できると考えています。竹は乾燥後、細断・粉状に粉碎したものが、表面積が大きく吸収効果があり、熱量を上げる効果も期待できることから、有効な材料と考えています。



工業所有権等／関連特許3件取得済み

株式会社 Eプラス

〒592-0012 大阪府高石市西取石7-13-30 EMビル

072-265-2770 eplus@seagreen.ocn.ne.jp <http://eplus32.co.jp>